

急激な景気の悪化で、非正規労働者の解雇が相次ぎ、正社員や自営業の方も収入減に苦しんでいます。2月18日から3月19日まで開催された川崎市議会3月議会で日本共産党川崎市議員団は、こういうときこそ自治体が手を差しのべるべきと、雇用や緊急経済対策の拡大、子どもたちへの援助の拡大などを求めました。詳細は別紙市議会報告「明るい川崎」で報告します。

# あかるい生田

## 生田出張所が区民センターに?! 届出事務は2011年度中に区役所へ統合



生田出張所

生田出張所を改善して、会議室などを開放することは、生田の皆さんの長年の願いの実現ですが、窓口業務を縮小すること引き換えにしなければなりません。

川崎市は昨年十月、「区役所と支所・出張所等の窓口サービス機能再編実施方針素案」を発表し、そのなかで、生田出張所は「(仮称)区民センター」として、これまで行ってきた戸籍や印鑑証明などの届出の受付をやめ、地域振興や市民活動の拠点として機能を再編することを提案しました。実施は二〇一一年度とし、二〇一〇年度から建物の整備を始めるとしています。

「再編実施方針」とはどんなものか  
今回、市が発表した「機能再編実施方針素案」は、「便利で快適な区役所サービスの効率的・効果的・総合的な提供」を目的として、区役所の支所・出張所・連絡所を廃止し、基本的な機能を区役所に統合しようというものです。

住民票や印鑑証明書の発行など、書類の写しの発行は、いまは機械でできるので残しますが、戸籍や印鑑証明などを新たに届け出することは、出張所ではできなくなり、すべて区役所に統合します。

同時に、出張所はあいたスペースを活用して、会議室や作業スペースなどをつくり、市民活動や地域振興に役立つようにし、名称も「(仮称)区民センター」にするというものです。

市民活動の拠点は以前からの願い  
生田地区には市民館のような施設がまったくなく、以前から「市民館・図書館分館をつくってほしい」という強い要望があがっていました。一度は、生田小学校の下校庭に市民館・図書館分館が建設されることが決まりましたが、狭い道路の問題などがあり頓挫して、いまは建て替えをしなくても、今の生田出張所には百人程度収容できる会議室もあり、「当面、開放してほしい」という声も強くあがっていました。

市内には、二つの支所(川崎区大師、田島)、四つの出張所(幸区日吉、高津区橋、宮前区向ヶ丘、多摩区生田、二つの連絡所(多摩区菅、麻生区柿生)があります。向ヶ丘出張所は、区役所に直接行くバスがないなど、交通が不便なため、届出事務の区役所への統合は困るとい声があがっています。

「区役所と支所・出張所等の窓口サービス機能再編実施方針素案」のパンフレットはこちら  
<http://www.city.kawasaki.jp/e-news/info1455/file8.pdf>  
ご意見・お問い合わせは、  
日本共産党川崎市議員団まで

2009年3・4月

市議会報告

日本共産党

市議員

井口まみ

(発行)

日本共産党市議員団

川崎市川崎区宮本町1

電話 200-3360

FAX 245-4140

<http://www.iguchi-mami.jp>

### 多摩自然遊歩道が拡大へ 黒沢明監督「蜘蛛巣城」のロケ地も

多摩自然遊歩道には、市の内外からたくさんのハイカーがやってきます。この遊歩道は、JR稲田堤駅から小沢城址をとおり、菅薬師堂から小田急の読売ランド前駅が終点でした。でも菅薬師堂の先には、菅北浦緑地、菅馬場緑地があり、そこを通れば、寺尾台八角堂で東生田自然遊歩道につながり、2つの遊歩道をつなぐ、まさに「多摩の横山」をずっと歩いていくことができます。

川崎市は、その声に答え、子の神神社の上を歩きやすいよう整備し、このたび、自然遊歩道として追加指定しました。これは、十二月議会で井口市議が求めている

たもので、これにより、黒沢明監督が「蜘蛛巣城」の当時のまま残されている菅北浦緑地、宅地として開発されそうになったものを何度も押し返して緑地として残した菅馬場緑地を、子の神神社や菅薬師堂など歴史的遺跡とともに堪能することができます。



昨年10月、市民の皆さんの提案したコースを多くの人と歩きました。

「この統合で便利になるのだろうか」  
川崎市は、十二月に行った説明会やパブリックコメントなどで集まった市民の意見をもとに、ちかぢか「実施方針」を決定し、区役所への届出事務の統合、「区民センター」への再編を行うことにしています。本来、本当に身近な市民サービスとはどんなものだろうか。

市町村がもっと小さかったころは、すぐそばに役場があり、なんでも役場に行けば相談に乗ってもらえました。いま、介護保険にしても、年金にしても、区役所が遠いと、ほんとうにたいへんです。確かに、戸籍や印鑑証明の届出をするのは、一生に何回もあることではありませんが、区役所の出先

「区役所と支所・出張所等の窓口サービス機能再編実施方針素案」のパンフレットはこちら  
<http://www.city.kawasaki.jp/e-news/info1455/file8.pdf>  
ご意見・お問い合わせは、  
日本共産党川崎市議員団まで

ないでしょうか。  
機関があるのと、証明書を発行する機械が置いてあって、その説明をしてくれる職員がいるのでは、頼りにしたい人たちにとって、大きな違いがあると思うのですが、皆さんはどうお考えになるでしょうか。

ご意見を  
お寄せください

「十二月の説明会  
は知らなかった」  
「こんな計画がある  
ことも知らなかった」  
という声も実はたくさんあります。これから遅くはありません。下記の資料をごらんいただき、ご意見をお寄せください。

ご協力ありがとうございました

# 「雇用と労働に関するアンケート」 1500通を超える返信が！ 深刻な労働の実態が明らかに

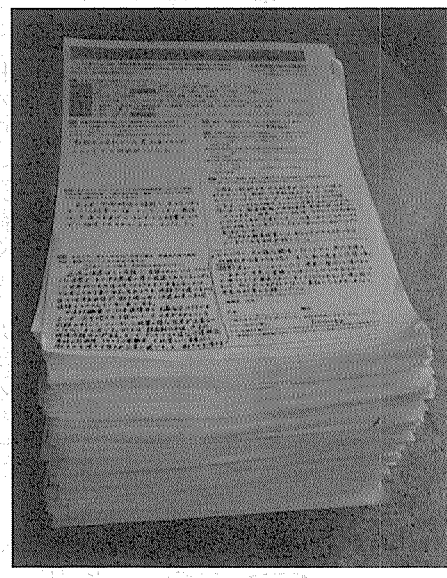
日本共産党川崎市議団が取り組んだ「雇用と労働に関するアンケート」の返信が、全市で千五百通を超えて寄せられ、「解雇された」「仕事がなくなり収入が激減した」など大変な実態が川崎市内でも広がっていることが明らかにになりました。相談のなかで個人加入の労働組合に入る人もいるなど、新しい一歩につながった人もいます。

## 「派遣切り」は他人ごとではない

寄せられたアンケートには、「派遣切りであって、収入がない」「仕事がなくなると、家賃が払えない」などの、深刻な話で埋め尽くされており、あらためて雇用の現実の厳しさを実感させられます。「今はまだ大丈夫」という人も、「こんなに若い人を使い捨てする社会は、未来がない」「これからの会社は大丈夫なのだろうか」という声も寄せられ、どの年代、どの階層の方も、今の社会のあり方を心配していることがうかがえました。

## いっそうの相談活動を

これからさらに、三月末を迎えて、派遣切りなどの人が増えるといわれています。日本共産



全市から寄せられたアンケート。ぎゅうしりと悩みが書かれています。

党は国や市に対し、雇用だけでなく生活の問題も同時に相談できる窓口を創設することを求めています。何かあったらいつでも、日本共産党市議団にご相談ください。

## 保育園に入れなくて働けないという声が相次ぎ

圧倒的に目立ったのが、「保育園に入れられない」という訴えでした。おりしも保育園の入所申し込み、発表の時期で、「働かないと生活できないのに、保育園に入れなかった。川崎はどうなっているのか」という悲痛な声が上がっています。

日本共産党議員団はこの声を代表質問でも取り上げ、直ちに市の対応を求めました。

## 労働組合に入ろう

同様に目立ったのは「困ったことがあってもどこに相談

## 「子どもの学費が工面できない」奨学金、貸付などの制度があります あきらめないでご相談を

「私立にいきたいが、入学金も授業料も心配」「親の収入が急に減って、授業料を払い続けられない」など、今の不況が子どもたちにまで影響を及ぼしています。日本共産党市議団では、子どもたちの夢をあきらめずにすむように、国や川崎市、神奈川県などの奨学金や貸付の制度をまとめて紹介しています。

川崎市には返還しなくてもよい高校生のための奨学金制度があります。4月の中ごろが締め切りなので、通学している学校で申し込みますが、市が予算を減らし毎年希望者の3分の1、350人しか受けられません。日本共産党は予算を増やすよう、つよく要求しています。



お問い合わせは、  
Tel.200-3360まで

# 生田浄水場はなぜ廃止されるのか

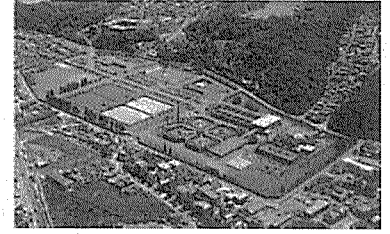
その4

※生田浄水場が廃止される計画であることをお知らせしたところ、多くの方から「なぜなのか」と問合せがありました。そこで何回かに分けて、川崎市の水道の歴史や今の計画について、お知らせしています。今回はその4回目、最終回です。

生田浄水場を廃止し、自己水源からの水を減らして、企業団の水は買いつける。これはどんな問題を持っているのでしょうか。

なによりも、市内で手にはいる、しかもほとんど手を加える必要のないきれいな水を放棄することは、地震など、大規模災害のときの備えを失うということでもあります。井戸水は水道局がペットボトルで売るくらいきれいで、災害時には大きな役割を果たします。市内の水源がなくなれば、相模湖は川崎から三十二km、企業団の飯泉取水堰は五〇kmと、遠いところからしか水はこなくなるのです。日本共産党の井口まひ市会議員は、二〇〇七年の十一月議会で、「自己水源を手放して、いざというときにどうするのか」と質問し、「災害時の緊急用水源として、(い)くつかの井戸を維持する」という答弁を始めて得ました。やはり遠くの水源よりも近くの水源のほうがいざというときには必要なのです。

また、河川の下流から取る水が増えることは、水質の悪化をもたらします。いまは、相模湖の水が中心ですから、不純物は泥がほとんどです。そのため長沢浄水場では細かな泥をこればきれいになります。川崎市の水は、井戸水はもちろん、相模湖の水もきれいなので、コストもかからずおいしいのです。しかし、他の都市では、さらにさまざまな不純物を取り除くため、高度処理を行っています。大阪市は、粒状活性炭処理とオゾン処理の工程を加えるために、相当の設備投資をしています。川崎市も今回の長沢浄水場の改築にも



生田浄水場全景

ご意見、ご感想をお寄せ下さい